



2021-22 年度地区方針

「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日 第2414回 2021年12月18日(土) No. 2295

本日のプログラム Today's Program

点 鐘 18:00

斉 唱 「我等の生業」・「手に手つないで」

年忘れ家族会

於:東京第一ホテル錦

担当者:親睦活動委員会

前回 第2413回 2021年12月10日(金) 記 録

○唱和:「四つのテスト」

○出席者:会員 22 名中 16 名出席 出席率 72.72%

会長挨拶

桜井 雅博



12月5日に団団亭で現・次・次次期会長と、松永さんとで打ち合わせ会をしました。

この後のクラブフォーラムで、打ち合わせた事項について、皆さんと討議したいと思います。本日は出来るだけクラブフォーラムの時間を多くとりたいと思いますので、会長挨拶は短く終わります。忘れないうちに打ち合わせ会のポイント報告をしますと、先ず記念誌部会を来年早々から、定期的に開催したいと思います。次に、森井さんをはじめ長期休会の記念誌部会会員が多数出ておりますので、外部のWebデザイン要員の支援を仰ぎたいと思います。更に、井田副会長に記念誌部会に入ってください、苗木配布事業・東北支援事業・音楽倶楽部支援事業等の歩みを纏めて頂きたいと思ひます。

尚 本日の配布資料は、宮崎氏の国際情勢解題です。「中国経済は二度死ぬ」と語られており、習近平の暴走が危惧されます。

また、クラブフォーラム例会の資料として、尾張旭RCのSDGsテーマ案と入会年度と生まれ年の一覧表を配布いたしました。皆さんの活発な意見交換をお願い致します。

幹事報告

- ・12/4(土)交通安全啓蒙塔リニューアルお披露目式
於 JA あいち日当本地ヶ原支店
桜井会長 出席

ニコボックス

○本日のクラブフォーラム例会、皆さんの活発な意見交換をお願い致します。

桜井 雅博君、加藤 清久君

○来週の家族会よろしくお願ひします。江尻 豪君

○先般、京都へ行ってき参りました。そこで一句、「あめんぼと 池に映りし 等持院」等持院は足利家の菩提寺です。加藤 清久君

	12月24日(金)	12月31日(金)	2022年1月7日(金)	1月14日(金)
例 会 予 定	休会	休会	卓話担当者:例会運営委員会 卓話者:古橋 裕志例会運営 委員長 演題:「 新年例会 」	卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:菊田 利昭幹事 演題:「 1年の抱負 」
	定款による休会	定款による休会		

- 今年最後の例会です。一年間ありがとうございました。
加藤 清久君
- オミクロン株の出現など、新型コロナウイルス感染症については、まだまだ油断大敵です。お互い気をつけていきましょう。
金森 俊輔君
- 本日健康トレーニングです。健康な身体こそSDGsの土台です。今日も頑張りましょう。
田中 祐子さん
- 50周年記念誌の作成方よろしくお願ひします。
箕輪 良孝君
- クラブファースト例会とは？勉強させて頂きま
す。
森 友子さん

12月3日(金)卓話



「療育って何？」

谷口 亜弥

皆様こんにちは。12月1日、尾張旭市北本地ヶ原に二事業所目【児童発達支援専門教室 Flocorir Fit(フロコリアルフィット)】を開所致しました。開所に至るまで、本当に沢山の皆様のお力、ご支援ご鞭撻を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、この児童発達支援専門教室とはどんな施設で、また何が行われているかですが、こちらは県指定事業施設になり児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問支援、この3つの柱で運営されています。

- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス
- ・保育所等訪問支援

こちらはいずれも一般所得のご家庭であれば一月4600円にて利用することが可能です。手続きは各市町村を通し行います。そしてこの事業に従事していることで「療育ってなあに？」と尋ねられることがとても増えました。本日はこのお話からさせていただきます。

今の段階で日本に「療育」に対する定義はありませんが、スポーツに特化された方ならスポーツで、音楽に特化された方なら音楽で、特性のあるお子様の現在よりそれ以上の生きやすさを一緒に追求し考え実践するのが、療育と言えるのだと考えます。(医師専門家連携の元)

私の事業所フロコリアル、そしてフロコリアルフィットでは情緒や感性、「感じ感動する心」育てに力を入れたいと考え日々活動しています。そこで取り入れている療育方法にモンテッソーリ教育があります。こちらは藤井聡太くんが幼少期モンテ幼稚園に通ったことで有名になりましたが、元々は知的障害児に向けた療育法です。その他音楽を媒体にしたリトミック、親子様に向けた子育て勉強会のペアレントトレーニング、社会性を学ぶソーシャルスキルトレーニングを行っております。

また畑作業を通じ食育も行っております。このようにトレーニングを重ねお子様にとって最も基礎となる感性の部分育てる重要性は近年益々言わ

れております。大人になるとつい見落としがちですが、この『根っこ』となる部分が育っていないと、近い将来ご本人もご家族も大変なことになります。

非行に走る、犯罪に染まるといったお子様は、金銭の貧しさからではなく、家庭の寂しさからくるのはご存知でしょうか。ませている、早熟なお子様の性体験が早いのではなく、寂しいお子様ほど性体験の時期が早まるのはご存知でしょうか？

ではどうしたらお子様は『寂しい』と感じるのか。それはお父さんお母さんはじめ、自分を育ててくれる周囲の大人から「認めて貰えない」「受容されない」「愛されていると感じることが出来ない」ことから起こります。認めて貰えない、わかって貰えない、受けとめて貰えないとは、子どもの(大人も同じく)自己肯定感を養うことが出来ず、生きることに非常に苦しみます。自分を認めて貰えず辛い気持ちを抱えたまま生き大人になった彼等彼女等は、生きる希望を見い出せないままに、場合によっては居場所を見失い生きることを諦めることにもなるのです。

皆さんは非認知能力【という言葉聞いたことはありませんか？】非認知能力とは、『意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力』といった、測定できない個人の特性による能力です。【学力(認知能力)】に対して用いられます。非認知能力の高さがその後の学歴(学習能力)や仕事等に影響することが明らかになっています。この非認知能力は幼いほど身につきます。その理由は、脳の発達と関係します。「生命維持や危険の察知、安心感、好き嫌い」等の感覚を司る部分に働き、幼児期に原型が完成すると言われていています。幼少期この脳を伸びのびと発達させ非認知能力を身に着けたいですね！そしてこの脳の成長とともに学力=【認知能力】を担当する前頭連合野と繋がっていきます。つまり学力【認知能力】を高めるには、まず生きる力【非認知能力】を育むことからなのです！この順番をすっ飛ばすことはできません。

どうか焦らず、その時その時のお子様合った子育て、言葉がけと一緒に考えていきたいいつも親御さんにお話しさせていただいております。そこで大切なこと、我々ができることは、【無条件の愛を与えてあげること】です。【無条件で愛されている】【いつだって助けてくれる】という『基本的な信頼感と安心感を育てる』ことは【生きる基礎作り】です。意外とここを見落としがちです。我が子が泣いたり呼びかけたりしたら、いつも温かく応える。失敗したら決して頭ごなしに怒らず「大丈夫だよ。」「ここまでよくがんばったね」と認める作業を繰り返します。不安そうな時は寄り添い、励まします。そんな関わり方を日々心がけることが子育てだと考えます。ついお子様が良い子にしているときは知らんぷり、そっとしておこう、いたずらした時だけ「コラッ」といった生活していませんか？

※紙面の都合上、卓話後半は次週掲載致します。